

科目名称：	ファイナンシャルプランニング演習Ⅱ	
担当者名：	北川良徳	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
人生100年時代、変化し続ける生活環境を生きていくには、健康をベースに生活経済知識を持って、社会生活のシステムの中で戸惑いなく加わる、ライフデザインできることを目的にします。1年後期の授業で基礎知識習得し、本授業では、社会生活で発生するいくつかのケース時に、知識を基に判断・対処方法を3級FP技能士の試験問題にて確認演習、FP技能士資格取得。自信をもって社会生活に踏み出せる又は就活にも役立て、個人が目指すプロセスで輝いた人生を歩んでもらいたい。		
授業の達成目標・到達目標		
この授業では、前半の達成目標を国家資格3級FP技能士資格取得におき、1年後期に履修した6分野の知識を基に、5月下旬試験日の技能士資格取得に、ケース問題解説と演習で3級取得。後半6月からは2つに分けて。①更にファイナンシャルプランナーとしての実務知識を磨き、9月の2級技能士チャレンジを目指す。②3級未取得者には9月にこそ3級取得を目指して再度学んでいく。他方、問題集に出てくるケース対応では、解説も行い知識のアップも進め、自らのプランを描き、家族のプラン見直し修正にも取り組めるようにする。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	70			30	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 ファイナンシャルプランナー	《経験年数1》 25年
	《内容2》 生命保険・損害保険の相談・募集	《経験年数2》 41年
	《内容3》FP技能士受験の研修講師	《経験年数3》11年
	《内容4》市のシニア生活相談窓口	《経験年数4》3年
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
生活経済知識6分野を習得	各知識の生活での活用法を理解のうえ説明可能	各分野の知識を説明できる	概ね各分野の知識説明ができる	主な用語は理解しているも、理解不十分
生活の備え方：社会保険・個人保険習得	生活リスクに備え社保＋個保を理解	社会保険・個人保険の各制度を理解	社会・個人保険制度概要を理解	社会・個人保険制度理解不十分
運用と金融商品の特性・市場の動き習得	市場の変化・運用商品について理解	運用に金融商品の特徴を知り選択可	運用金融商品の特徴・概要を理解	運用の必要性理解、金融知識不足
FP技能士3級資格 取得	学科・実技とも高得点合格	学科・実技とも合格	学科又は実技のどちらかに合格	学科・実技とも不合格

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 15回の進行概要説明・FPと資産計算・3大資金	テキスト第1章の復習	30分
第2回 社会保険・公的年金・生命保険・損害保険・所得税・相続	解説と問題	30分
第3回 債券・株式・投資信託・金融商品と税・ポートフォリオ・不動産と税	解説と問題	60分
第4回 学科過去問・解説	解説と問題	60分
第5回 実技過去問・解説	解説と問題	60分
第6回 学科・実技演習	解説と問題	60分
第7回 学科・実技演習	解説と問題	60分
第8回 学科・実技演習	解説と問題	60分
第9回 検証・GD.	GD. で学習前進	30分
第10回 テキスト・問題で知識深耕解説	2級テキスト・問題、3級問題積み重ね	60分
第11回 テキスト・問題で知識深耕解説	2級テキスト・問題、3級問題積み重ね	60分
第12回 テキスト・問題で知識深耕解説	2級テキスト・問題、3級問題積み重ね	60分
第13回 テキスト・問題で知識深耕解説	2級テキスト・問題、3級問題積み重ね	60分
第14回 テキスト・問題で知識深耕解説	2級テキスト・問題、3級問題積み重ね	60分
第15回 テキスト・問題で知識深耕解説	2級テキスト・問題、3級問題積み重ね	60分

※授業計画にアクティブラーニングの記載を入れてください  
 事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
 また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

検定試験にて80%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。

授業中の取り組み

※前ページの評価方法と成績評価の方法が一致していない

課題に対してのフィードバック

6月初旬、GD. と後半の授業取組から判定

教科書・参考書

「FP3級合格のトリセツ」テキストと問題集、「FP2級合格のトリセツ」テキストと問題集 ※毎回の授業で使用する